

国頭・大宜味・東 北部3村 地域振興へ公庫と協定

【北部】沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）と国頭・大宜味・東のやんばる3村は23日、国頭村の道の駅ゆいゆい国頭で地域振興プロジェクト助言業務に関する協定を締結した。世界自然遺産登録を見据えた観光産業や地域振興に対し、構想や企画の段階から沖縄公庫が金融ノウハウを活用して助言する。

指定され、観光客が増加傾向にある。自然豊かな環境や地域資源を生かした経済産業活動の推進やむらづくりを見据え、沖縄公庫による助言や融資を受けて地域振興を促進させる。

締結式で川上理事長は「世界自然遺産登録の動きがある中で、3村らしい地域振興ができる。北部は非常にポテンシャルが高く、それを十分発揮できるようにお手伝いしたい」と述べた。



た。国頭村の宮城久和村長は「自然環境を生かしたス

「国頭村・大宜味村・東村地域振興プロジェクト助言業務に関する協定」を結んだ（左から）東村の伊集盛久村長、大宜味村の宮城功光村長、沖縄振興開発金融公庫の川上好久理事長、国頭村の宮城久和村長。23日、国頭村の道の駅「ゆいゆい国頭」

ポーツーリズムなどの地域振興を活性化させたい」と意気込んだ。大宜味村の宮城功光村長は小学校の跡地利用について触れ「シークワサーワイン工場やIT研修施設など、公庫としっかり連携して進めていきたい」と語った。東村の伊集盛久村長は「返還された部分の跡地利用促進など地域の発展へ結び付けていきたい」と述べた。

「世界遺産」備え助言

沖縄公庫 国頭など3村と協定

【国頭・大宜味・東】国頭、大宜味、東の3村と沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は23日、「国頭村・大宜味村・東村地域振興プロジェクト助言業務に関する協定」を締結した。公庫は、村が実施する世界自然遺産登録を見

据えた地域振興への取り組みに参画し、構想・企画段階から助言。助言業務に関する協定の締結は15市町村目となる。3村が保有するやんばるの森には、ヤンバルクイナやノグチゲラなど希少な動植物が



生息・生育しており、世界自然遺産登録が期待されている

る。3村には、国内外からの観光客増加が予想され、観光産業を拠点とした地域活性化を目指している。やんばるの森ビジターセンターの整備事業や東村慶佐次の慶佐次通信所跡地の利用などを話し合う。

助言業務協定を結んだ（左から）伊集盛久東村長、宮城功光大宜味村長、沖縄振興開発金融公庫の川上好久理事長、宮城久和国頭村長。23日、道の駅ゆいゆい国頭

宮城久和国頭村長は「公庫の経営ノウハウを生かして、地域活性化のために導いてほしい」。伊集盛久東村長は「専門的な立場からの助言が必要で、地域振興に協力してもらうと心強い」。宮城功光大宜味村長は「3村とともに連携していきたい」と話した。川上理事長は「きめ細かく支援し、個別の相談や3村と合同で話し合っていきたい」と述べた。